



FrontBase

The Scalable Relational Database

作成 2003年4月2日 by A10
<http://www.a10-dev.com/>

FrontBaseとは？

- 開発元/販売元
- リレーショナル/スケラブル・データベースサーバー
- マルチプラットフォーム/ANSI Cベース
- SQL92ベース/Unicodeベース
- FrontBase機能
- ドライバー/アダプター/プラグイン
- サポート/価格体系
- その他

開発元/販売元

開発/販売/サポート

HomePage: <http://www.frontbase.com/>

アメリカ: FrontBase, Inc.

住所: 26741 Portola Pkwy., Ste. 1E #414

Foothill Ranch, CA 92610

電話: +1 949 330 6372

FAX: +1 949 330 6371

電子メール: info@frontbase.com

ヨーロッパ/デンマーク: Frontline Software Aps

住所: Datavej 52

DK-3460 Birkerød

Denmark

電話: +45 45 82 62 62

FAX: +45 45 82 08 16

電子メール: info@frontbase.com

日本国内販売: エーテン

HomePage: <http://www.a10-dev.com/>

住所: 734-0004

広島県広島市

南区宇品神田3丁目3-17

NIMURA-1-201

電話: 082-255-1973 / 070-5427-3745

FAX: 082-255-1973

電子メール: info@a10-dev.com



Scalable for success



リレーショナル/スケーラブル・データベースサーバー

- リレーショナル

FrontBaseのリレーショナル(主キー/外部キー)に制約は無い。

必要なら「CHAR」と「Time」そして「BLOB」の複合を外部キーとして指定する事が可能である #1。

(2,048/4,098バイトのフィールド制約、主キーは文字? そんな制限は無い!

FrontBaseは最大2GBバイトの文字を扱える。CHAR/VCHARで異なる事はない!)

- スケーラブル

全てを同一マシンで構成するポータブルマシン(PowerBookのような)

から

複数マシン/マルチプラットフォーム上でレプリケーション(DB複製)/クラスタ(DB多重化)を実施した大規模なテラバイトサイズ。

- ビジネスルールを定義し必要に応じてスケーラブルするだけである。

マルチプラットフォーム/ANSI C ベース

- ANSI C ベース

FrontBaseはANSI Cで記述されている。

FrontBaseは最小限の努力でUNIX/Lunixベースのシステムに最新版を提供出来る。
新しいシステムへの移植も可能である。

FrontBaseのクライアントライブラリ「FBCAccess」もANSI C。

FrontBaseは新しい時代に生まれた、コードはコンパクトで、多くの先進的なコードを実現する。

- マルチプラットフォーム

MacOSX, RedHatLinux 7.1, SuSE Linux 7.1, YellowDog 2.3, Mandrake 2.5

Deblan (Intel) 2.45, Linux for IBM S390, Solaris 8.1, FreeBSD 7.3, WindowsNT/2000/XP

- FrontBaseの持つスケーラビリティは異なるプラットフォーム間でも動作する。

例えば、MacOSX Serverのデータベースを安価なLinuxサーバー上のFrontBaseへレプリケーション
リアルタイムでバックアップ的に利用するなど。

FrontBaseは多くのドライバーもマルチプラットフォームで提供する。

SQL92ベース/Unicodeベース

- Unicode ベース

FrontBaseはコアにUnicode(UTF-8)を利用する。

文字(CLOBも含む)としてUnicodeがデータベースに保存する唯一の文字コードである

(Unicodeの持つ冗長性の為にディスク/メモリの非効率性を指摘するユーザーもいる。しかし、思い出して欲しい、殆どのOSおよびアプリケーションは、より複雑にUnicodeへアクセスする。FrontBaseは新しいデータベースである。生まれた1996年にはコアからUnicodeを利用する事が出来た。過去の互換の為にオーバーヘッドは無いのである。そして、現在、ハードウェアは1GB-RAM/100GB-HDを容易に手に入れられる。)

- SQL92ベース

SQL92のフィールドタイプを実装する。

数字: 8bitから128+32bit。最大2GB/UTF-8エンコードの文字:固定長から可変長。

日付: DATEからZONE付きTIMESTAMP, INTERVAL。

最大2GBのバイナリ: BLOB, CLOB

SQL92構文準拠、アクセス制限: GRANT/REVOKE、SQL92準拠のビュー

- FrontBaseはコアにUnicodeを利用する、テーブル名/フィールド名に日本語が利用できる。 #2

#1: 全てのSQL92規格は実装されていない。例えば「Binding/CLI/Exception Handling」などは必要性が指摘されないので実装されていない。

#2: 多くのクライアントツールはFrontBaseのようにコアにUnicodeをサポートしない、従って日本語を利用しない方が無難である。

FrontBase機能

- SQL92には規定されないFrontBase固有の機能
 - ・2テラバイトのデータサイズ
 - ・データベースパスワード/ユーザー名/ユーザーパスワード
 - ・データ暗号化(トリプルDES)
 - ・通信路暗号化(Server <-> Client)
 - ・IPアドレスチェック
 - ・Liveバックアップ
 - ・キャッシュ (キャッシュ統計と設定)
 - ・複数サーバーでの運用
- 起動オプション

AutoCommit, AutoCreate, localOnly接続, sqlLog, port指定, 特権設定, バックアップ復帰
RDD(デバイスドライバー設定), 暗号化, クラスタ設定, 複製設定

ドライバー/アダプター/プラグイン

- FrontBaseは一般的な接続インタフェースを無償で提供する。
 - ・Apple WebObjects 5 Plug-In
 - ・PHP3/4
 - ・Perl
 - ・ODBC
 - ・JDBC
 - ・Omnis Studio
 - ・REAL Basic
 - ・Tcl
- CレベルのFBAccess/FBCAccessも提供する。

FrontBaseがサポートしない独自のシステムをCレベルの接続ライブラリから開発する事も可能。

- 特定の接続にはサードパーティ製の有償版も存在する。

サポート/価格体系

- 開発ライセンス-無料

- ・FrontBaseの開発者ライセンスは無料で提供される。
- ・開発者ライセンスは「E-Enterprise: ¥500,000」の期間限定版である。
(6ヶ月更新更新が必要で、他の制限は無い。FrontBaseの機能を充分評価可能である)

- 運用ライセンス-有料

- 一般向け

E-Starter: Free, E-Business: ¥148,000, E-Enterprise: ¥500,000など。

- アカデミック

E-Starter: FREE, E-Business: ¥74,000, E-Enterprise: ¥250,000など。

- サポート-有料 (現在は英語版のみ提供)

Getting Started- 90day: FREE, Basic- 1インスタンス: ¥30,000

Multiple Instances- 1年間(15インスタンス): ¥198,000

Embedded- 1年間(制限無しインスタンス): ¥398,000

- OEMライセンス(特定用途ライセンス)

FrontBaseを特定の用途に大量に利用したい向けのライセンスを一般/アカデミックで準備

その他

- パフォーマンスチューニング
CPUパワーとRAM容量に大きく左右される。RDDキャッシュ、descriptorキャッシュ、rowキャッシュ、dopeキャッシュ、indexキャッシュ、テクニカルサポート、各種統計設定コマンド
- RDD
OSファイル バイバスとRAMキャッシュを提供
- 管理ツール
FrontBaseManager for MacOSX, FBWebManager, sql92, FBKeyGenerator/FBChangeKey, FBScriptAgent, FBUnicodeManager
- インストール/アンインストール
MacOSX/Windowsならインストーラー、他のプラットフォームもいつかのコマンド入力で完了する。
- バックアップ
ファイルコピー、Liveバックアップ、フラットファイル書き出し、拡張フラットファイルでの書き出し
- セキュリティ
複数の方法を提供する。データベースパスワード、ユーザー名/パスワード、サーバー認証、通信路暗号化、データ暗号化、IPアドレスチェック、ローカル接続
- マルチCPU対応
FrontBaseはOS管理下でマルチCPUをサポートする。FrontBaseはスレッド単位で複数CPUを利用。

Good luck.



各機能はプラットフォームで多少異なります。動作環境をご確認ください。